

## 編集後記

2018 年 12 月号（第 35 巻第 2 号）をお届けいたします。昨年度より 3 週間早く JAFIA 事務局に印刷用原稿をお送りすることができました。このペースで、懸案となっている発行遅延の解消に向け、次巻ではさらに締めを早めたいと考えています。執筆者の皆様には、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

巻頭言では、JAFIA 委員長を退任された今任稔彦 先生からご挨拶をいただきました。高知大院教育の森 勝伸 先生からは、「イオンクロマトグラフィーにおけるフローインジェクション分析の利用」と題した巻頭言をいただきました。指標には徳島大院社会産業理工の水口仁志 先生から「初心者としての経験から」と題してご寄稿いただきました。神戸大院海事科学の堀田弘樹 先生には、ミニレビュー “Evaluation of Antioxidant Activity by Flow Injection Analysis with Electrochemical Detection” をご執筆いただきました。原著論文およびノートには各 1 報の投稿がありました。迅速な審査にご協力いただいた先生方に厚く御礼申し上げます。九州大院工の石松亮一 先生には、解説「電気化学発光の解析のポイント」をご執筆いただきました。トピックスには熊本大院先端科学の大平慎一 先生と徳島大院先端技術科学の小林拓真 様よりご寄稿いただきました。(株)小川商会の樋口慶郎 博士からは 2018 JAIMA セミナーの、芝浦工大工の正留 隆 先生からは第 55 回フローインジェクション分析講演会の、岡山大院自然科学の谷 夢希 様からは Flow Analysis 2018 の報告記事をいただきました。学会情報は徳島大院医歯薬(薬)の竹内政樹 先生にお願いいたしました。

来年度の *J. Flow Injection Anal.* は創刊 35 周年の記念号となります。2018 年 11 月 15 日に東京にて開催された編集委員会では、「解説やミニレビューなど、どなたかに執筆を依頼するのではなく、編集委員には原著論文やノート、あるいは解説、ミニレビュー、トピックスなど、いずれかのカテゴリで最低 1 報は貢献していただきたくよう呼びかける」ということになりました。JAFIA 会員の皆様には、本誌の発展のためにお力添えいただきたく、以下の通りお願い申し上げます。

### JAFIA 会員の皆様へのお願い

1. 創刊 35 周年を迎える Vol. 36 (2019) は、「35 周年記念号」と銘打って、原著論文をはじめ多くの記事を集めたいと存じます。*J. Flow Injection Anal.* には、総説、ミニレビュー、原著論文、ノート（2018 年の投稿規定改定により新設；詳細は Vol. 35(1), pp.20-21 をご参照下さい）、解説、トピックス、報告、新刊紹介など、さまざまなカテゴリがあります。JAFIA 会員の皆様には、Vol. 36 ではいずれかのカテゴリで 1 報あるいはそれ以上の貢献をしていただけますと誠に有り難く存じます。よろしくお願い申し上げます。
2. J-STAGE の *J. Flow Injection Anal.* のページ (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jfia/-char/ja>) を開き、より多くの論文を閲覧していただきますようお願いいたします。（閲覧数が少ないと由々しきことになるのかどうかは存じませんが、せつかく *J. Flow Injection Anal.* の J-STAGE 登載が実現したのですから）。

JFIA 編集委員長 田中秀治